

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	PC 規準指針小委員会		主 査 名：西山峰広 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：深井 悟
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・既刊『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』『プレストレスト鉄筋コンクリート(Ⅲ種PC)構造設計・施工指針・同解説』のメンテナンス。</p> <p>・建築学会における PC 関係の規準と指針のあり方、将来の方向性の検討。</p> <p>・現行規準・指針の見直し、改定作業。新規準・指針の可能性を検討、作業統括。</p> <p>・刊行予定の『プレストレストコンクリート造建築物の性能評価型設計施工指針(案)・同解説』の編纂。</p> <p>2013年度：『PC性能評価型設計施工指針(案)・同解説』の耐震設計、常時荷重設計、部材設計、材料・施工の部分の内容の相互調整。構造委員会の査読結果を受け原稿修正。</p> <p>2014年度：指針(案)の出版、講習会を開催。現行規準・指針の改定案作成。</p> <p>2015年度：現行規準と指針の改定案検討。</p> <p>2016年度：現行規準と指針の改定。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：西山峰広(京都大学) 幹事：加藤誠一(オリエンタル白石) 委員：阿波野昌幸(近畿大学)、鹿毛忠継(建築研究所)、加藤博人(建築研究所)、河野進(東京工業大学)、児玉幹雄(神鋼鋼線工業)、小室努(大成建設)、菅田昌宏(竹中工務店)、田才晃(横浜国立大学)、深井悟(日建設計)、福井剛(ピーエス三菱)、増田安彦(大林組)、丸田誠(島根大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>PC材料・施工WG：『PC性能評価型設計施工指針(案)・同解説』の材料編・施工編について検討。PC関係規準指針の材料・施工について改定案、見直し案を提案。</p> <p>ソケット基礎設計・施工 WG：ソケット基礎の設計と施工に関して実験資料や施工例を収集し、その力学特性を解明し、設計法や施工法開発に役立てる。</p>		
2014 年度予算	90,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s16/</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『プレストレストコンクリート造建築物の性能評価型設計施工指針(案)・同解説』(PC 構造運営委員会傘下 4 小委員会で共同)
講習会	1. 講習会「プレストレストコンクリート造建築物の性能評価型設計施工指針」(同 4 小委員会で共同) 参加者数：東京 138 名、大阪 88 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 『PC 性能評価型設計施工指針(案)・同解説』を、2015 年 2 月に発刊し、講習会を開催した。</p> <p>2. 『PC 設計施工規準・同解説』の改定に関する検討を開始した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 『PC 設計施工規準・同解説』は前回の改定から 17 年が経過しており、改定は急務となっている。</p> <p>2. 同様に、『プレストレスト鉄筋コンクリート(Ⅲ種 PC)構造設計・施工指針・同解説』も 2003 年に改定されてから、すでに 12 年が経過しており、改定を検討しなければならない。</p>